

2023 年度重点施策

Vision2023 の総括と次の Vision の策定、活力に溢れ Sustainable な学会へ

Vision2023 に基づいてこれまで重点施策を掲げて活動が展開され、具体的な活動等に繋がって成果も挙げてきた。Vision2023 達成に向けての活動の総まとめの時期となる一方で、2019 年度 APCChE において発出した札幌宣言では「Efficiency から Sufficiency」の考え方を提示し、未来に向けての新規な活動も始まっている。

* 科学技術とは、人々の幸福や社会のために資するように使われるものであるが、昨今では科学技術によってつくられた環境に社会や人間が合わさなければならなくなっている。「Sufficiency」は、より良い社会とは、を問うところから掲げられた。

2022 年度に引き続き、2023 年度も下記 3 つの視点（学会の体制と機能、人材育成、イノベーション）での重点施策を掲げる。カーボンニュートラルの目標設定、AI・デジタル変革の進展など社会環境が変化する中、「Sufficiency」を意識し、目標を再確認し、スピード感を持って取り組んでいく。さらに Vision2036 の策定に向けた活動を行う。

1) 化学工学会の体制・機能強化

化学工学と化学工学会を通じて科学技術の社会実装と普及に貢献するために、学会の体制の見直しと発信力の強化を図る。国内外問わず学会外の組織との連携強化も積極的に進める。

1-1) 学会運営の可視化と機能強化

1-2) 社会への貢献

1-3) SNS を含めた社会への発信力の強化

1-4) 国際連携の推進・強化

2) 人材育成、人材活用

社会が求める新たな化学工学の育成・実践基盤の構築に向けて

2-1) 「化学工学の教科書」の有効活用に向けた働きかけ

2-2) 幅広い世代が化学と化学工学に触れ、興味を持つ仕掛け、活動の推進

2-3) SDGs, ダイバーシティの推進

3) イノベーションの提案と実践

カーボンニュートラル社会、デジタル革新による創造社会 (Society5.0) などの実現には、ありたい未来社会の姿の構想からのバックキャストによるイノベーションが必要。

3-1) 再生可能エネルギーの本格導入に対する化学工学の貢献

3-2) カーボンニュートラルなプロセス・コンビナートの構築への化学工学の貢献

3-3) 化学製品設計・製造・プラントへの AI, DX の導入に向けた貢献

[1] 公益事業

1. 学術集会事業

(1) 本部大会

- ・第 88 年会 (令和 5 年 3 月 15~17 日) 東京農工大学小金井キャンパス
・オンライン併用開催
- ・第 54 回秋季大会 (令和 5 年 9 月 11~13 日) 福岡大学七隈キャンパス

(2) 支部大会

- ・3 支部合同大会(北海道・東北・関東) (2023 年 8 月) 山形県

- ・合同支部(関西・中国四国)大会 (2023年12月) 福井県

(3) 講演会、シンポジウム

- ・各種講演会、シンポジウム、講習会、技術交流会等の開催

2. 国際交流事業

(1) 国際化を促進する。

- ① 海外地域委員制度を実施し、各国の帰国留学生の連携を強化する。
- ② ホームページの国際関連記事の英文化をより一層進める。
- ③ アジア各国の化学工学会の動向に注目し、日本・韓国・台湾との合同シンポジウムを年1回、持ち回りで引き続き開催する。
- ④ 中国と日中化工シンポジウムを隔年交互に開催する。
- ⑤ アセアン諸国とは RSCE への参加を通じて積極的に交流し、APCChE への参加を促す。
- ⑥ 年会で併催の国際シンポジウム(International Chemical Engineering Symposia 2023, IChES2023)をより発展させる。当シンポジウムにて、化学工学会アジア国際賞の受賞者による受賞講演を行う。Proceedings の出版を併せて行う。
- ⑦ AIChE や DECHEMA とのジョイントシンポジウムを積極的に開催する。
- ⑧ 海外留学生交流会を引き続き産学連携センターと共同で開催する。

(2) 各国委員会

- ① 中国委員会
年4回の委員会の開催と講演会を開催する。日中ワークショップを企画する。
- ② 韓国委員会
韓国化学工学会主催の「化学工学に関する国際シンポジウム」(慶州市予定)を開催する。
2023年度韓国化学工学会秋季大会にて日韓台合同シンポジウムを開催する。
韓国化学工学会主催の「ASCON-IEECh2023」(江陵市予定)を開催する。
- ③ 台湾委員会
2023年度韓国化学工学会秋季大会にて日韓台合同シンポジウムを開催する。
- ④ アセアン委員会
フィリピン、インドネシア、タイ、ベトナムとの交流を引き続き深め、2023年10月にホーチミンで開催が予定されているRSCE(Regional Symposium on Chemical Engineering)には積極的に参加する。AFCChES(ASEAN Federation of Chemical Engineering Societies)にも積極的に参加し活動をサポートする。
- ⑤ 米国委員会
AIChE 年會にて、TwIChE との合同レセプションを企画する。
また、年會以外にも協力できる内容について意見交換する。
AIChE 年會にて、ジョイントセッションおよびレセプションを企画する。
- ⑥ ドイツ委員会
今年度開催の日本での展示会(INCHEM)や年會、秋季大会等、及び次年度 DECHEMA 主催の展示会(ACHEMA2024)にて、日独合同シンポジウムを企画する。
ドイツ主催の展示会(ACHEMA)にて、日独合同シンポジウムを企画する。
- ⑦ WCEC(World Chemical Engineering Council) / APPChE委員会
1)第20回APCChE Congressは9月4～9日にマニラ(フィリピン)で現地開催される。
SDGs 検討委員会(野田委員長)が、SDGs のセッション・ワークショップを企画するので積極的に参加する。
2)WCCE11(11th World Congress of Chemical Engineering)は6月4～8日にブエノスアイレス(アルゼンチン)で現地開催されるので協力する。

WCEC:World Chemical Engineering Council

APCChE:Asia Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress

3. 人材育成事業

- ・資格制度と技術者教育を両輪として連携させた教育体系の活動強化と技術者の生涯にわたる学習を支援。

(1) 経営ゼミナール委員会

- ・社会経済の動きに即応し、リーダーシップを発揮できる経営者の育成。
- ・第49回経営ゼミナール（2023年8月25,26日名古屋、9月29,30日習志野、10月27,28日相生、11月24,25日幕張）の実施。テーマ：「明日の日本を私が創る ～VUCA時代のビジョンを示せ！～」。
- ・経営ゼミナール特別講演会（第17回：11月25日）の実施。過去の受講者が集う場の提供による産産交流。
- ・現地開催を基本とし、グループ討議・懇親会は状況によりオンライン開催に変更して同様の結果を出せる環境を用意。

(2) 継続教育委員会

- ・企業の若手技術者（入社～10年程度）が実務に直結した技術を学ぶ機会を提供。
- ・本会現有プログラム（プラントエンジニアリングコース、安全エンジニアリングコース、環境エンジニアリングコース）の実施、及び、日本粉体工業技術協会（粉体エンジニアリングコース）への協賛。
- ・講座の特徴を活かして、それぞれ対面またはオンラインで開催（年間約70日）。オンライン開催の場合も、少人数、かつ、オリエンテーションを行うなど、一方通行にならないように工夫をして実施。
- ・受講者の理解度向上のため、事前アンケートによる受講目的把握。テキスト事前送付による予習促進。修了レポート実施と質問メール受付による復習をサポート。
- ・「化学工学技士（基礎）」を保有する若手社員を対象にした受講料割引制度の実施。
- ・受講と修了レポートの結果に応じて「継続教育ポイント」を付与。
- ・事後アンケート等に基づく既存プログラムのメンテナンスと、新規プログラムの拡充。
- ・修了レポートの提出率向上に向けた取り組み。

(3) 高等教育委員会

- ・社会の要求に応じた高等教育機関の技術者教育を改革する活動を実施。
- ・化学工学系の学生を対象に「集まれ 化学工学に触れている学生諸子の会」（1回目：9月20,21日、INCHEM TOKYO会期中に、会場とZoomを用いたオンライン配信とのハイブリッド開催。2回目：1月頃、Zoomを用いたオンライン開催）の実施。
- ・Chemical-Energy-Car Competition 2023（2023年8月27日、Zoomを用いたオンライン開催）の実施。
- ・SIS部会情報技術教育分科会「プロセスデザイン学生コンテスト」への共催。
- ・産業界が必要とする具体的な化学工学教育のカリキュラム・科目の検討。また、それに基づいた収益事業の模索。

(4) J A B E E 委員会

- ・日本技術者教育認定機構（JABEE）及び化学分野 JABEE 委員会が活動するに際し、本会と協業する際にはその窓口となり活動。

(5) 未来人材育成委員会

- ・「学生発表会」（2023年3月4日、Zoomを用いたオンライン開催）の実施と、2024年度（2024年3月2日）に向けた準備。
- ・「化学モノづくり動画」（夢・化学21）の新規教材作成と、既存教材の活用促進に向けた啓蒙活動。

(6) その他

- ・キャリアに応じたプログラムの提供と各プログラムから次ステップへの案内、及び、会員増強への貢献。
 - －「化学工学技士（基礎）」から「継続教育」

- 「継続教育」から「化学工学技士」
- 「化学工学技士」から「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」「上席化学工学技士」
- 「化学技術者の知的生産性を追求するプログラム」から「経営ゼミナール」「上席化学工学技士」
- ・ 「知的生産性を高めるチームづくり」講座（2023年12月頃）の開催。

4. 資格付与事業

(1) 資格制度運営

- ・ 「上席化学工学技士」の審査（一次書類審査 2023年6月、二次論文審査 2023年7～9月、三次面接審査 2023年10月14日）に向けた運営、認定。なお、面接は4年ぶりに対面で実施する予定。
- ・ 「化学工学技士」の試験実施（2023年8月19日東京・大阪）に向けた運営、認定。
- ・ 「化学工学技士（基礎）」の試験実施（2023年9月30日全国各地会場）に向けた運営、認定。
- ・ 「化学工学技士（基礎）」取得者への「継続教育ポイント」付与。
- ・ 「化学工学技士（基礎）」合格と「継続教育」受講で得た「継続教育ポイント」を利用した無料での「化学工学技士」受験促進。
- ・ 化学工学系の学生を対象に開催される「集まれ 化学工学に触れている学生諸子の会」での資格制度及び活用事例の紹介。
- ・ 「化学工学技士（基礎）」と「化学工学技士」「上席化学工学技士」が集い、日本の未来を背負う若手技術者・研究者の卵とプロフェッショナルが意見交換できる場を提供。

5. 出版事業

(1) 学会誌

- ・ 誌面充実を図るべく、連載企画を増やし、読者に役立つ記事を折り込むよう努める。
- ・ 学会活動共有に向け、本部・支部内のタイムリーな情報をできる限り掲載していく。
- ・ 引き続き、冊子から電子版への移行を促進していく。

(2) ホームページ

- ・ 利便性の更なる向上にむけ、本部ホームページの抜本的な見直しと改訂に取り組む。
- ・ 掲載内容の精査、円滑な広報活動に向けたPDCAサイクルを回していく。

(3) 広告

- ・ 体制強化のため、取扱代理店を現状の1社から2社体制とする。
- ・ 一方は化工誌広告（冊子、電子版バナー）および本部サイトのバナーを、他方は大会関連の広告（ブース展示、申込サイトWEBバナー、プログラム冊子広告等）を主担当として、より幅広い営業活動を目指す。

6. 受託事業

- ・ ビジョン推進委員会は、次のビジョンの策定に向けて、VISION2036 策定委員会の活動をサポートする。
- ・ 産業界交流委員会では、若手会員への熟議継続とSDGsに関する活動を実施する。
- ・ 次世代エネルギー社会検討委員会では、関連の強い委員会との統廃合を視野に入れ新たな展開を目指す。
- ・ 社会実装学研究会では、化学プロセス、化学材料、未利用・代替 資源、システムに関わる技術の社会実装の事例（過去／現在進行形、成功／未成功／失敗／方向転換）を蓄積する活動を開始し、化学工学における社会実装論の基盤の構築を試みる。また、実行できていなかった執行部および会員の再構築を行い、これまでのように超大規模なメンバーを持つ研究会ではなく、①新たにできてきている委員会や研究会（地域CN, CCUS）を社会実装論の整備の視点からサポートするような活動方法
②1つあるは2つ程度の部会とタイアップして活動しこれをまわしていくような活動方法も試行する。③状況が許せば、あらたに社会実装されたプロセスの見学会・講演会も企画を再開する。

- ・SDGs 検討委員会では委員 20 名ほどの体制で札幌宣言の具体化に取り組んでいる。第 88 年会で「SDGs 達成に向けた札幌宣言の実行ーありたい未来社会のための化学工学ー」を主催し、APCChE2023 で SDGs に関するシンポジウムを企画、第 54 回秋季大会でもシンポジウムを企画する。
- ・CCUC 検討委員会 (CCUS 研究会から改組) では、CO2 回収・利用・貯留 (CCUS) 技術の社会実装を検討するためのモデルベース評価基盤を整備し、シンポジウム等で成果を公開するなど広く活動していく。
- ・CSR 委員会では、化学工学および化学工学会の社会的価値向上のため、「化学工学は科学技術分野で培った理論を社会システムへと適用し、社会課題の解決にも貢献しうる学問である」ことを広く認知してもらうことが重要と考え、これを実現すべく、化学工学的思考法の魅力を伝える出版物の製作をはじめ、種々具体的な企画を展開する。
- ・地域連携カーボンニュートラル推進委員会では、① 分科会と WG の連携強化により、地域産業および地域コミュニティとの融合から、地域や時系列を考慮した 2050 年カーボンニュートラル社会に向けたシナリオ構築を行う。② 第 88 年会および第 54 回秋季大会にて、特別シンポジウム (一般公開) を主催して、化学工学が挑む未来社会について情報発信する。③ コンビナート連携推進機構との連携強化により、具体的なケーススタディ、カーボンニュートラルに必要な技術や学問体系の展開・深化をリードする。

7. 技術相談事業

- ・年會に於ける産主導の産業セッション開催による産業人の年會参加推進
- ・常置委員会の活動支援による産学官交流促進
- ・法人會員向け情報発信強化による産業人の学会活動への参加促進
- ・技術相談サービスの継続と態勢検討

8. 審査事業

- ・JCEJ の海外出版社への移行が 2023 年 1 月に完了したことを受け、今後オープンアクセスジャーナルとして、プレゼンス向上を目指す。
- ・これに伴い JCEJ の掲載料 (APC) が従前より高額となるため、本部および部會が APC 支援を行える体制を整備する。
- ・和文誌の投稿記事数を促進するため、広報など含め新たな取組を模索する。

9. 表彰事業

- ・名誉會員候補者の推薦
- ・2023 年度化学工学会賞の表彰

10. 男女共同参画事業

- (1) 講演会・セミナーの開催
 - ・年會において女性賞受賞記念講演を含む「女性技術者フォーラム」開催
 - ・秋季大会において女性技術者ネットワークを開催
- (2) 情報発信
 - ・会誌「化学工学」の「広がれ！ダイバーシティ」に寄稿者を推薦
→キャリア形成に関する紹介を行う記事を掲載
- (3) 交流・意見交換の場の提供
 - ・「女性技術者ネットワーク」「世界女性朝食会」を継続的に開催
 - ・オンラインシステムを活用し交流の場を広げる
- (4) 参画支援活動
 - ・本部大会期間中における保育サービスの実施 (現地・在宅近くでの保育)
- (5) 対外活動
 - ・男女共同参画学協会連絡会の参加

- ・支部・部会・他委員会との連携
- ・他学協会行事への積極的参加による活動アピール

[2] 収益等事業

1. 展示出展事業

- ・隔年で実施する総合展示会「INCHEM TOKYO 2023」を2023年9月20日（水）より22日（金）までの3日間、東京ビッグサイトにて開催する（共催：日本能率協会）。
- ・今展示会のメインテーマを「カーボンニュートラル社会を目指すあなたに ～最新化学工学技術とポテンシャルパートナーとの出会い～」と決定した。カーボンニュートラル社会の実現に向けた各企業・団体などの最新技術やビジョン・施策を、ブース展示や各種講演を通じて社会に発信し、産学官を超えた複合的な「イノベーション創出の場」「出会いの場」とすることを旨とする。
- ・また、従来の構成展示会名称を「INCHEM」に統一。機能別の出展ゾーンを新たに設けるなど、「INCHEM」のプレゼンス向上に取り組む。

2. 相互扶助事業

- (1) 支部・懇話会
 - ・地域CT賞の表彰
- (2) 部会
 - ・本部大会等での魅力あるシンポジウム、討論会の実施
 - ・産学官連携の推進
 - ・部会CT賞の表彰
 - ・情報発信力の強化(部会HP等)

[3] 刊行物

1. 定期刊行物

- (1) 「化学工学」誌 第87巻No.1～12号(12冊)
 - ・ページ数：56ページ/号平均
- (2) 「化学工学論文集」第49巻No.1～6
 - ・ページ数：36ページ/号平均
 - 電子版：奇数月発行6回/年
 - 冊子版：1、3月号、5、7月号、9、11月号を合本として年3回発行
- (3) “JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN” 第56巻
 - ・掲載件数：年間100報程度
 - 電子版：審査終了した論文から随時公開する
 - 冊子版：発行しない

[4] 支部事業

別紙「2023年度各支部事業計画書」参照

[5] 部会事業

別紙「2023年度各部会事業計画書」参照

2023年度支部事業計画書

(自2023年3月1日～至2024年2月28日)

公益社団法人化学工学会

[] 共催行事・〈 〉 地区懇話会名等・○ 印日程未定

		北海道支部	東北支部
2023年3月			
4月			○ (岩手)岩手化学工学懇話会総会 ○ 東北支部特別講演会(東北大) ○ (宮城)宮城化学工学懇話会総会(東北大)
5月	○ 第1回常任幹事会(札幌 or Zoom)		○ (山形)山形化学工学懇話会総会 ○ (山形)山形化学工学懇話会講演会 ○ (福島)福島化学工学懇話会総会 ○ (福島)福島化学工学懇話会講演会
6月			○ 第25回先端研究発表会(東北大)(東北支部・宮城化学工学懇話会共同主催) ○ (青森)青森化学工学懇話会総会 ○ (秋田)秋田化学工学懇話会総会 ○ (秋田)第54回ケミカルエンジニアリング交流会
7月	○ 第1回役員会(札幌 or Zoom) ○ 見学会および講演会<第166回講演会>		○ (宮城)第66回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城)
8月			8-9 化学工学会山形大会
9月			8-10 [(令和5年度化学系学協会東北大会) (東北大学)(東北支部共催)] ○ 第31回東北支部若手の会セミナー ○ 第28回東北ジョイント夏季セミナー ○ 東北支部令和5年度第1回役員会
10月	○ 第24回アシアセミナー <第167回講演会>		○ (青森)青森化学工学懇話会講演会(東北支部協賛) ○ (宮城)第67回プロセス設計技術講演会・見学会 ○ (福島)福島化学工学懇話会工場見学会
11月	○ [2023年度微粒子工学講演会]		○ (岩手)[第33回化学工学一関セミナー(一関高専)](東北支部共催) ○ 第34回ベニバナコンファレンス(東北支部協賛)
12月	○ 第2回常任幹事会(札幌 or Zoom)		○ (秋田)第55回ケミカルエンジニアリング交流会 ○ (山形)山形化学工学懇話会技術講演会 ○ (福島)第14回福島地区CEセミナー(東北支部協賛)
2024年1月	○ 第33回化学工学・粉体工学研究発表会 ○ 第2回役員会		○ 東北支部令和5年度第2回役員会(宮城) ○ (宮城)第68回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城)
2月			

2023年度支部事業計画書

(自2023年3月1日～至2024年2月28日)

公益社団法人化学工学会

[] 共催行事

		関東支部	東海支部
2023年3月	4 9 10 ○	第24回学生発表会 若手の会・後援事業 第6回幹事会 第1回幹事会 <新潟地方化学工学懇話会>	
4月	21 ○	第1回運営会議 第1回幹事会 <神奈川技術懇話会>	○ 第1回 幹事会
5月	26 ○ ○	第1回幹事会 [神奈川地区見学講演会] 2023年度総会 <神奈川技術懇話会>	○ 第1回 常任幹事会
6月	9 9 9 23 ○ ○ ○	総会・理事会 <新潟地方化学工学懇話会> 第152回講演会 <新潟地方化学工学懇話会> 総会・記念講演会 <北関東地区化学技術懇話会> 第65回関東技術サロン・第2回幹事会 バイオプロセス講演見学会 ホットな話題の講習会 第192回講演会 <神奈川技術懇話会>	○ 第2回 幹事会 ○ <静岡>役員会・総会 ○ 第16回 機器分析講習会
7月	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	幹事会・総会 <つくば化学技術懇話会> 第9回初心者のための化学工学入門コース(3日間) 第4回リスクに基づくプロセス安全入門 第24回食品微細科学研究会講演会 <つくば化学技術懇話会> 総会 <北関東地区化学技術懇話会> 第80回化学工学基礎講習会「化学工学入門1」 <新潟地方化学工学懇話会> 第81回化学工学基礎講習会「化学工学入門2」 <新潟地方化学工学懇話会>	○ 第2回 常任幹事会 7,10 19~21 第47回 基礎化学工学演習講座(第1クール) 第47回 基礎化学工学演習講座(第2クール)
8月	24 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	第2回運営会議 3支部合同支部大会 学生賞 The Researcher招待講演 第27回高校生のための現代寺子屋講座 第9回ものづくり技術セミナー 中高教諭とケミカルエンジニア交流見学講演会 粒子・流体プロセス技術コース2023<つくば化学技術懇話会> 特別講演会 <北関東地区化学技術懇話会>	○ [中高ケミカルエンジニアリング見学講演会共催]第108回 講演見学会 ○ 第47回 基礎化学工学演習講座(第3クール) ○ 第2回中高生のためのSDGsのためにできること
9月	29 ○ ○ ○ ○	第3回幹事会 第29回イブニングセミナー 第2回幹事会 <新潟地方化学工学懇話会> 工場見学会 <新潟地方化学工学懇話会> 第153回講演会 <新潟地方化学工学懇話会>	○ 第3回 幹事会 ○ <静岡>第61回 静岡コロキウム
10月	16-17 23-24 27 30-31 ○ ○ ○	第27回基礎化学工学講習会(1-2日目) 第27回基礎化学工学講習会(3-4日目) 第3回運営会議 第27回基礎化学工学講習会(5-6日目) 第29回旬の技術見学講演会 第82回化学工学基礎講習会 <新潟地方化学工学懇話会> 講演会 <北関東地区化学技術懇話会>	○ 第3回 常任幹事会
11月	17 ○ ○ ○ ○ ○	第66回関東技術サロン・第5回幹事会 講演会 <つくば化学技術懇話会> 第55回CEシリーズ講習会 学生会(工場見学・企業講演会・Workshop) 第83回化学工学基礎講習会「化学工学入門3」 <新潟地方化学工学懇話会> 第84回化学工学基礎講習会「化学工学入門4」 <新潟地方化学工学懇話会>	11~12 [第54回 中部化学関係学協会支部連合秋季大会][三重大学予定] ○ 第3回 東海若手合宿 ○ 第10回 初歩からの化学工学数学演習講座 ○ <静岡>第31回 静岡フォーラム(研究交流セミナー) ○ 第10回三重コロキウム
12月	22 ○	第4回運営会議 第3回幹事会 <新潟地方化学工学懇話会>	○ 第4回 幹事会 ○ <静岡>第29回 企業技術交流会 ○ 第57回 化学工学の進歩講習会
2024年1月	26 ○	第5回幹事会 最近の化学工学講習会72	○ 第4回 常任幹事会 ○ 第109回 講演見学会
2月	16 ○ ○ ○ ○ ○	第5回運営会議 クローズアップシリーズ2023 2023年度コンビナート講習会 企業先端技術講演会2024<新潟地方化学工学懇話会> 令和5年度つくば学生研究交流会<つくば化学技術懇話会> 研修講演会 <北関東地区化学技術懇話会>	13 第5回 幹事会/役員会/第125回東海技術サロン

2023年度支部事業計画書
(自2023年3月1日～至2024年2月28日)

公益社団法人化学工学会

[]共催行事

九州支部		
2023年3月		
4月	○	第1回執行部会
5月	○ ○	第1回幹事会 ○ <北九州>総会・講演会
6月	○ ○	<西九州>総会・講演会 ○ <南九州>総会・講演会
7月	1 1 14-15 19-21 26-28	第60回化学関連支部合同九州大会 第28回九州支部学生賞審査会 第33回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 第54回化学工学の基礎講習会 第54回化学工学の基礎講習会
8月	8-10	第54回化学工学の基礎講習会
9月	○ ○	執行部会(拡大執行部会) ○ <東九州>総会・講演会
10月	○	第16回化学工学の基礎出前講習会
11月		
12月		
2024年1月	19 19	第26回企業と大学・高専の人材育成懇談会 執行部会
2月	○	第2回幹事会

2023 年度 部会事業計画書

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 国際関連事業 | 2. シンポジウム・講演会などの行事 |
| 3. 本部大会・支部行事関連行事 | 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動 |
| 5. 出版物・特集号などの化学工学出版への寄与 | 6. 受託事業の推進 |
| 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行 | 8. 特記事項 |

(記載事項のない項目は掲載省略; 年号記載ないものは 2023 年 3-12 月、2024 年 1-2 月)

バイオ部会

1. 国際関連事業

- 行事名: 化学工学会第 88 年会 国際セッション (東京農工大学)
行事副題: Biomedical Engineering Challenges toward Intractable Diseases
開催年月日: 3 月 16 日
会場: 東京農工大学
オーガナイザー: 河原正浩 (医薬健栄研)
その他: アジア国際賞受賞講演 Wei Wei (Chinese Academy of Sciences)
- 行事名: YABEC (Young Asian Biological Engineers' Community) 2023 (台湾 国立成功大学)
開催年月日: 7 月 12 日~14 日
会場: 東広島芸術文化ホール、またはオンライン
日本側代表: 加藤竜司 (名古屋大)、今中洋行 (岡山大)、小西 正朗 (北見工大)、山田真澄 (千葉大)
主催: YABEC2023 実行委員会
共催: バイオ部会
- 行事名: 16th Asian Congress on Biotechnology, 8th International Symposium on Biomedical Engineering (ACBISBE 2023) (台湾 国立成功大学)
開催年月日: 未定
会場: ホーチミン (ベトナム)
日本側代表: 加藤竜司 (名古屋大)、今中洋行 (岡山大)、小西 正朗 (北見工大)、山田真澄 (千葉大)
主催: ACBISBE2023 実行委員会
共催: バイオ部会

2. シンポジウム・講演会などの行事

- 行事名: 2023 年度日本食品工学会秋季見学会・講演会 (未定)
行事副題: 未定
開催年月日: 11 月頃を予定
会場: 未定
参加者: 40 名程度を見込み
発表件数: 4 題程度の予定
オーガナイザー: 未定
主催: 日本食品工学会
共催: バイオ部会

3. 本部大会・支部行事関連行事

- 行事名: 化学工学会 第 54 回秋季大会【バイオ部会ポスターセッション】 (福岡大学七隈キャンパス)
行事副題: 未定
開催年月日: 2023 年 9 月 11~13 日のいずれか 1 日
会場: 福岡大学七隈キャンパス
参加者: 250 人程度 (企業関係含む) 発表件数: 未定 (うち招待講演 1~2 件)
発表件数: 100 件
オーガナイザー: 未定
主催: バイオ部会、環境生物分野専門分科会、エネルギー部会
共催: 未定

- ・ 行事名:化学工学会第 54 回秋季大会【バイオ部会シンポジウム】 (福岡大学七隈キャンパス)
 行事副題:未定
 開催年月日:9 月 11～13 日のいずれか1日
 会場:福岡大学七隈キャンパス
 参加者:未定
 発表件数:未定(うち招待講演 1～2 件)
 オーガナイザー:未定
 主催:バイオ部会 食糧・食品生産分野専門分科会
 共催:日本食品工学会(予定)
- ・ 行事名:化学工学会第 54 回秋季大会【バイオ部会シンポジウム】 (福岡大学七隈キャンパス)
 行事副題:未定
 開催年月日:9 月 11～13 日のいずれか1日
 会場:福岡大学七隈キャンパス
 参加者:50 人程度(企業関係者含む)
 発表件数:未定
 オーガナイザー:未定
 主催:バイオ部会 メディカル分野専門分科会
 共催:未定
- ・ 行事名:化学工学会 第 54 回秋季大会【バイオ部会シンポジウム】 (福岡大学七隈キャンパス)
 行事副題:未定
 開催年月日:9 月 11～13 日のいずれか1日
 会場:福岡大学七隈キャンパス
 参加者: 50 人程度(企業関係者含む)
 発表件数:未定
 オーガナイザー:未定
 主催:バイオ部会 生物分離分野専門分科会
 共催:未定

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 行事名:2023 年度バイオ部会インフォーマルミーティング
 行事副題:未定
 開催年月日:9 月頃を予定
 会場:福岡市近郊
 参加者:50 人程度
 発表件数:3 題程度の予定
 オーガナイザー:未定
 主催:バイオ部会

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- Newsletter No.57 (6 月)
- Newsletter No.58 (12 月)

8. 特記事項

- ・ バイオ部会 2023 年度総会 (東京農工大学)
- ・ バイオ部会 2023 年度第 1 回役員会 (福岡大学)
- ・ バイオ部会 2023 年度第 2 回役員会 (未定)

超臨界流体部会

1. 国際関連事業

- ・ The 19th European Meeting on Supercritical Fluids (EMSF) (Budapest)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 超臨界流体部会第 22 回サマースクール (9 月)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第 54 回秋季大会
超臨界流体部会シンポジウムの開催 (9 月)
共催: 部会横断型シンポジウム(CVD 反応分科会)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 超臨界流体基礎セミナーの開催 (秋頃)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 年鑑の担当・執筆、編集委員会への参加、Topic 投稿
化学工学年鑑 2023 (10 月)

6. 受託事業の推進

- ・ プロジェクト研究の企画検討 (チーム編成)

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ ニュースレターの発行 (年2~3回)
SCF NEWSLETTER No.36、メール配信 (7 月)
SCF NEWSLETTER No.37、メール配信 (12 月)

8. 特記事項

- ・ 部会ホームページの全面変更、会計システムへの対応
超臨界流体部会 第 1 回役員会 (オンサイトおよびオンライン)
超臨界流体部会 第 2 回役員会 (オンサイトおよびオンライン)

エネルギー部会

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 第 23 回バイオマス関連部会・研究会合同交流会、バイオマス分科会 (日時未定)
- ・ ガス化講演会見学会、バイオマス分科会 (日本エネルギー学会ガス化部会合同開、二回開催予定、日時未定)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第 54 回秋季大会におけるシンポジウム開催(部会横断型シンポジウム) (9 月、福岡大学)
(エネルギー部会、材料界面部会、反応工学部会、SIS 部会共催)
「電池・エネルギー変換デバイスの新展開(口頭発表部門およびポスター発表部門)」(仮)(エネルギー変換デバイス・システム分科会、予定)
- ・ 第54回秋季大会におけるシンポジウム開催(特別シンポジウム) (9 月、福岡大学)
「電解技術に関する学会横断シンポジウム(電気化学会連携企画)」(エネルギー変換デバイス・システム分科会、予定)
- ・ 第54回秋季大会におけるシンポジウム開催(予定) (熱利用分科会) (9 月、福岡大学)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 第 41 回熱利用分科会研究会(熱利用分科会) (開催日時、場所等未定)
- ・ 熱利用分科会第 12 回若手セミナー(熱利用分科会) (開催日時、場所等未定)

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- 【エネルギー部会メール配信】 部会員に対して主催・共催・協賛行事や人事公募などについて随時メール配信
- 【エネルギー部会 Web】 分科会の目的、主催・共催行事のスケジュール、行事報告書を公開

安全部会

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 11月の安全講演会

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 9月の秋季大会

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 安全サロン:

1月の第1回安全サロン(2021年度計画分)、3月の第2回安全サロン、5月の第3回安全サロン、7月の第4回安全サロン、9月の第5回安全サロン、11月の第6回安全サロン、2023年第1回安全サロン

- ・ プロセス安全に関するセミナー:

6月のアセット管理など「業務に基づくプロセス安全管理ガイドライン」(下記5, 参照)の別冊の発刊に伴う発刊記念講演会、8月のHAZOP/LOPA手法修得セミナー、12月にプロセス安全管理ガイドライン発刊1周年意見交換会

10月の第8回非定常HAZOPセミナー、2023年2月の第30回定常HAZOPセミナー

- ・ ノンテクニカルスキル教育に関するセミナー:

6月の第14回行動特性研究会、9月の第16回ノンテクニカルスキル講座、11月の第5回体験教室意見交換会

- ・ web ノンテクニカルスキル教育の体験教室とコンテンツ提供教室

2020年9月に開始したノンテクニカルスキル体験教室は8教室、コンテンツ提供教室は6教室に更に教室を追加して随時お申込み受付して開催中(2年前より継続)

- ・ 新しい事業として8. で記述のノンテクニカルスキル2.0コンテンツ制作WGの成果物をノンテクニカルスキル2.0体験教室として普及

- ・ 事故から学ぶオンデマンドコンテンツ配信事業

2021年8月に8コンテンツ、2022年1月に5コンテンツリリースし、随時お申込み受付中(2年前より継続)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

2022年11月15日に化学工業日報社から発刊された「業務に基づくプロセス安全管理ガイドライン」の別冊を6月に発刊予定

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

2022年10月に独立したHPでイベント発信、FBでニュース発信

8. 特記事項

- ・ BPMアプリケーション・ソフトウェア要求仕様策定WG 活動中
事故解析WG 活動中

LOPA翻訳WGは2022年6月終了(出版完了)

新PSMガイドライン構築WGは2022年12月終了(出版完了)

- ・ ノンテクニカルスキル枠組みWGは2022年9月活動完了し、TD46を発刊予定で成果報告会を2023年2月22日開催予定
これに伴いノンテクニカルスキル2.0コンテンツ制作WGが2022年11月に発足し、2023年12月終了予定で活動開始した。

エレクトロニクス部会

1. 国際関連事業

- ・ 予定なし。ただし臨時開催はある。

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 12月 シンポジウム(予定)
- 3. 本部大会・支部行事関連行事
 - ・ 第54回秋季大会「エレクトロニクス材料とプロセス」
- 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動
 - ・ シンポジウム要旨集のホームページへの掲載
- 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
 - ・ 「化学工学」年鑑への寄稿
 - ・ 化学工学会誌小特集の提案・寄稿
- 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・ 部会ニュースの配信とホームページへの掲載
- 8. 特記事項
 - ・ 幹事会および幹事会講演 6回開催予定
 - ・ 幹事会講演の部会員以外(一般)への公開継続

粒子・流体プロセス部会

1. 国際関連事業
 - ・ 熱物質流体工学分科会海外派遣助成
2. シンポジウム・講演会などの行事
 - ・ 部会セミナー
 - ・ 粒子流体プロセス技術コース 2023(流動層分科会)
 - ・ 学生発表会 2023(流動層分科会)
 - ・ 気液固分散工学サロン(第26回, 第27回)(気泡・液滴・微粒子分散工学分科会)
 - ・ 令和5年度ミキシング技術分科会夏期セミナー(ミキシング技術分科会)
 - ・ 第32回東日本地区ミキシング技術サロン(ミキシング技術分科会)
 - ・ 第33回関西東海地区ミキシング技術サロン(ミキシング技術分科会)
 - ・ 第28回九州・中国地区ミキシング技術サロン(ミキシング技術分科会)
 - ・ 第3回粉体プロセス研究会(3支部合同大会の粉体に関するシンポジウムセッションと合同開催)(粉体プロセス分科会)
3. 本部大会・支部行事関連行事
 - ・ 第54回秋季大会シンポジウム, 部会セッション
4. 講習会・セミナーなどの啓発活動
 - ・ 第11回若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会
 - ・ 熱物質流体工学セミナー2023(熱物質流体工学分科会)
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・ 部会ニュースレター(28, 29号)(部会)
 - ・ 気液固分散工学ニュースレター(28号, 29号)(気泡・液滴・微粒子分散工学分科会)
 - ・ ミキシング技術分科会会誌 Mixing Technology Now No. 28の発行(ミキシング技術分科会)
8. 特記事項
 - ・ 部会賞の公募, 審査・授与および記念講演会の開催

システム・情報・シミュレーション部会

1. 国際関連事業

- ・ 第88年会国際シンポジウム (2023年3月, 東京農工大学)
- ・ Recent Developments on Process Systems Engineering (2023年3月15日)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ プラントオペレーション分科会 第164回研究会 (2023年3月)
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (2023年4月)
- ・ プラントオペレーション分科会 第165回研究会 (2023年6月)
- ・ プロセスシステム工学分科会 第1回研究会 (2023年5月(予定))
- ・ システム医薬分科会研究会 (2023年6月)
- ・ ダイナミックプロセス応用分科会第1回研究討論会 (2023年6月(予定))
- ・ プラントオペレーション分科会 第166回研究会 (2023年8月)
- ・ プロセスシステム工学分科会 第2回研究会 (2023年7月(予定))
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (2023年9月上旬)
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (2023年9月:秋季大会会期中)
- ・ プラントオペレーション分科会 第167回研究会 (2023年10月)
- ・ プロセスシステム工学分科会 第3回研究会 (2023年10月(予定))
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (2023年12月)
- ・ システム医薬分科会研究会 (2023年12月)
- ・ ダイナミックプロセス応用分科会第2回研究討論会 (2023年12月(予定))
- ・ プロセスシステム工学分科会 第4回研究会 (2023年12月(予定))
- ・ プラントオペレーション分科会 第168回研究会 (2024年1月)
- ・ 情報技術教育分科会研究会 (2024年2月)
- ・ プロセスシステム工学分科会 第5回研究会 (2024年2月(予定))

3. 本部大会・支部行事関連行事

- 第54回秋季大会シンポジウム (2023年9月11～13日, 福岡大学)
- ・ プロセスシステム工学の最近の進歩 (2023年9月12日)
- ・ 情報技術教育分科会:第21回プロセスデザイン学生コンテスト (2023年9月13日)
- ・ ダイナミックプロセス応用分科会 シンポジウム(タイトル未定)
- ・ システム医薬分科会 シンポジウム(タイトル未定)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 第40回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー(開催時期未定)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 化学工学年鑑 (10月号)執筆

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会員(約300名)宛のメールマガジンを不定期に発行予定(年間15～20通程度)
- ・ 部会ホームページの更新および拡充

8. 特記事項

- ・ SIS部会幹事会 (2023年3月, オンライン or 東京農工大学)
- ・ SIS部会幹事会 (2023年9月, オンライン or 福岡大学)
- ・ SIS部会 研究奨励賞 審査および授与 (2023年3月)
- ・ SIS部会 技術賞 審査および授与 (2023年3月)

- ・ SIS 部会 研究奨励賞 審査および授与 (2023年9月)
- ・ SIS 部会 技術賞 審査および授与 (2023年9月)

反応工学部会

1. 国際関連事業

- ・ 化学工学会第 88 年会における反応工学部会セッション内での国際若手セッションの運営 (2023年3月)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 第 24 回化学工学会反応工学部会若手会 (反好会) 講演会 (2023年3月)
- ・ 第 10 回 CVD 反応分科会講演会 (2023年5月)
- ・ 第 39 回 CVD 反応分科会シンポジウム (2023年6月)
- ・ 第 6 回ソノプロセス分科会見学会@高知高専 (2023年6月)
- ・ 第 25 回化学工学会反応工学部会若手会 (反好会) 講演会 (2023年9月)
- ・ 日本ソノケミストリー学会: 第 32 回ソノケミストリー討論会 (ソノプロセス分科会: 共催) @金沢 (2023年10月頃)
- ・ 2023 年度ソノプロセス分科会講演会@金沢 (2023年10月頃)
- ・ 無機膜研究会 (2023年10~11月頃, 分離プロセス部会・膜工学分科会との共同開催)
- ・ 第 40 回 CVD 反応分科会シンポジウム (2023年11月)
- ・ 2023 年度マイクロ化学プロセス分科会主催講演会・見学会 (2023年11月頃)
- ・ 第 17 回触媒劣化セミナー (2023年11月~12月)
- ・ 講演会「反応場の工学」@群馬 (2023年12月)
- ・ 反応分離シンポジウム 2023 (2023年12月頃)
- ・ 第 7 回ソノプロセス分科会見学会@未定 (2024年1月頃)
- ・ 第 41 回 CVD 反応分科会シンポジウム (2024年2月)
- ・ 粒子流体プロセス部会流動層分科会とのジョイントシンポジウム (未定)

3. 本部分会・支部行事関連行事

- ・ 第 88 年会 CVD 反応分科会オーガナイズドセッション (2023年3月)
- ・ 第 54 回秋季大会にてマイクロ化学プロセス分科会シンポジウム (2023年9月)
- ・ 第 54 回秋季大会にて CVD 反応分科会による部会横断型シンポジウム (2023年9月)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 触媒反応工学分科会 賛助会員の集い (2023年10月~11月)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 化学工学年鑑 (2023) の執筆

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ マイクロ化学プロセス分科会、ニュースレターの送付 (年 2 回を予定)
- ・ マイクロ化学プロセス分科会、Facebook 上での準公式 HP による各種啓発活動
- ・ 反応分離ニュース (2023年12月頃)

8. 特記事項

- ・ 反応工学部会若手会 (反好会) 幹事会 (2023年3月, 9月)
- ・ CVD 反応分科会幹事会 (2023年3月、5月、9月、11月、2024年2月)
- ・ 第 79 回 CVD 研究会 (第 32 回夏季セミナー) 共催 (2023年8月)
- ・ 第 80 回 CVD 研究会共催 (2023年12月)
- ・ 令和 4 年度 CVD 反応分科会奨励賞授与, 記念講演 (2023年3月)
- ・ 令和 4 年度 CVD 反応分科会奨励賞審査, 決定 (2023年9月)
- ・ 国際学会での学生発表補助 (反応分離分科会)
- ・ これまで反応工学部会 (反応場の工学分科会) と熱工学部会とで開催していた部会横断シンポジウム「プラズマプロセスの最新展開」について、第 54 回秋季大会にて、プラズマに特化せずに活性種全般を扱ったシンポジウムとして開催することについて検討中である。

環境部会

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 第 35 回環境工学連合講演会「環境工学の 22 世紀」共催 (5月30日, 日本学術会議講堂)

- ・ 各分科会において見学会等を実施予定
3. 本部大会・支部行事関連行事
 - ・ 化学工学会秋季大会において「環境部会シンポジウム」を主催
(一部に企画セッション「カーボンニュートラルとファイナンス」を計画)
 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動
 - ・ 化学工学 11 号特集 化学工学年鑑 2023(環境化学工学)
 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・ 部会関連の情報を適宜、部会員全体のメーリングリストにて提供
 8. 特記事項
 - ・ 環境部会 2023 年度総会 (3月14日、ハイブリッド)
 - ・ 環境部会 2023 年度幹事会 (9月、ハイブリッド)

材料界面部会

1. 国際関連事業

2023年3月 IChES2023 でのアジア国際賞受賞講演を含む以下のセッションを企画・運営する。
“Organic/inorganic thin film processing for applications to electronic and energy devices”
2. シンポジウム・講演会などの行事
 - ・ 材料化学システム工学討論会 2023 (夏-秋頃、開催地調整中)
 - ・ 晶析操作の基礎と実践 協賛予定(晶析技術分科会)
 - ・ 日本海水学会若手会特別講演会 協賛(晶析技術分科会) (2023年3月7日、ホテルアトールエメラルド宮古島)
 - ・ 塗布技術分科会 第70回定例会合 (ハイブリッド:関東)
 - ・ 塗布技術分科会 第70回定例会合 (ハイブリッド:関西)
 - ・ 塗布技術分科会 第71回定例会合 (ハイブリッド:関東)
 - ・ 塗布技術分科会 第71回定例会合 (ハイブリッド:関西)
3. 本部大会・支部行事関連行事
 - ・ 第54回秋季大会 材料・界面部会シンポジウム 材料・界面討論会 ～材料創製と界面研究の最前線
～ 口頭、ポスター(予定)
 - ・ 第54回秋季大会 材料・界面部会シンポジウム <機能性微粒子分科会シンポジウム> (予定)
 - ・ 第54回秋季大会 材料・界面部会シンポジウム <晶析技術分科会シンポジウム> (予定)
 - ・ 第54回秋季大会 材料・界面部会シンポジウム <ソフトマター工学分科会シンポジウム> (予定)
 - ・ 第54回秋季大会 材料・界面部会シンポジウム <塗布技術分科会シンポジウム> (予定)
 - ・ 特別講演会<塗布技術分科会>
4. 講習会・セミナーなどの啓発活動
 - ・ 第9回マイクロカプセル研究会講演会 (機能性微粒子分科会、開催日時、場所は調整中)
 - ・ 第16回機能性微粒子分科会セミナー (開催日時、場所は調整中)
 - ・ 第8回ソフトマター工学分科会講演会 (開催日時、場所は調整中)
 - ・ 2023年度晶析技術分科会セミナー (開催日時、場所は調整中)
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・ 【材料・界面部会ニュース】部会員に対して随時メール配信
 - ・ 【晶析技術分科会ニュース】晶析技術分科会会員に対して配信

基礎物性部会

1. 国際関連事業

- ・ International Conference on Properties and Phase Equilibria for Products and Process Design (PPEPPD2023) (Terragona, Spain)にて、情報交換と国際交流を図る。
- ・ 第 54 回秋季大会(2023 年 9 月 11-13 日, 福岡大学 七隈キャンパス)にて、ミニ国際会議シンポジウムを主催する。
- ・ 2023 AIChE Annual Meeting(2023 年 11 月 5-10 日, Orland, FL)に部会員を派遣し、情報交換と国際交流を図る。
- ・ 分離技術国際会議(ICSSST23) (2023 年 11 月 15-17 日, 沖縄) (協賛(予定))

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 分離技術会等、基礎物性部会と関連のある学会と共催および協賛の講演会等を開催する。

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第 25 回学生発表会 (2023 年 3 月 4 日, オンライン)
- ・ 第 88 年会 (2023 年 3 月 15-17 日, 東京農工大学 小金井キャンパス)
- ・ 第 54 回秋季大会 (2023 年 9 月 11-13 日, 福岡大学 七隈キャンパス)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 基礎物性部会ミニ講演会 (オンラインで定期的実施予定)
- ・ 分離技術会等、基礎物性部会と関連する学会と協力して、企業研究者を対象とした物性測定技術、推算法の最新技術およびその応用に関する講習会を協賛・共催する。

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 化学工学年鑑 2022

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会員に向けた部会ニュースレターを配信し、部会員間の情報交換と部会事業への積極的な参加を促す。

分離プロセス部会

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 第 19 回分離プロセス部会基礎講座 (2023 年 10 月 予定: 蒸留分科会担当予定)
分離プロセス部会では、この分野の第一線で活躍されている研究者・技術者を講師に招き、分離プロセスの基礎理論を平易に解説する「分離プロセス基礎講座」を年一回程度のペースで開催している。
- ・ 第 10 回分離プロセス部会最新技術講座 (2023 年 11 月 予定: 膜工学分科会担当予定)
分離プロセス部会では、この重要な分離プロセス分野の第一線で活躍されている研究者・技術者を講師に迎え、分離プロセスの最新技術を平易に解説する「分離プロセス最新技術講座」を隔年のペースで開催している。

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 化学工学会第 54 回秋季大会シンポジウム(分離プロセス部会: 吸着・イオン交換分科会担当予定)
 - 分離プロセス部会シンポジウム(口頭)
 - 分離プロセス部会ポスターセッション(ポスター)他数件を予定
- ・ 化学工学会第 54 回秋季大会シンポジウム「分離プロセス産業セッション 2023(仮)」
分離プロセス部会では、第 52 回秋季大会と第 53 回秋季大会において、産業界の技術者による分離プロセス関連の講演(既報告済みも可、製品の紹介があっても可)を行うセッションを開催した。次回の秋季大会においても、産業界と学術界の交流の場として、同趣旨のセッションを開催する予定である。

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 会誌「化学工学」の年鑑 2023 における「分離操作」の取りまとめ(分離プロセス部会: 固液分離分科会)

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会 HP を随時更新し、部会会員への情報提供を強化する。
- ・ ニュースレターを年 1 回のペースで発行する。

熱工学部会

1. 国際関連事業

- ・ IHTC-17 (17 th international heat transfer conference)

内 容 : IHTC-17 の査読等の協力

開催日 : 2023 年 8 月 14-17 日

会場 南アフリカ.

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 化学工学会第 88 回年会におけるシンポジウム「熱エネルギー技術の統合による CO₂ 削減への挑戦」

概要: 熱を取り扱う技術や課題について、分野横断的に情報交換を行いながら、持続可能な社会の実現に向けて熱工学が果たすべき役割について考える。

開催日: 化学工学会 88 年会

(2023 年 3 月 15 日～17 日)期間中

会場: 東京農工大 小金井キャンパス

- ・ 化学工学会第 54 回秋季大会における「熱工学部会シンポジウム」

概要: 熱を取り扱う技術や課題について、分野横断的に情報交換を行いながら、持続可能な社会の実現に向けて熱工学が果たすべき役割について考える。熱と関わる基礎・応用研究にとどまらず、装置開発および改善に関する実例の報告、問題提起などを広く募集する。

開催日: 化学工学会第 54 回秋季大会

(2023 年 9 月 11 日～13 日)期間中

会場: 福岡大学 (七隈キャンパス)

- ・ 化学工学会第 54 回秋季大会における部会横断シンポジウム「プラズマプロセスの新展開」

概要: プラズマプロセスは新規材料合成や環境問題解決のための先端基盤技術として注目されており、プラズマによるナノ粒子合成、機能性薄膜の作製、表面処理に加え、有害物質処理などの幅広い分野に応用されている。本シンポジウムでは、プラズマプロセスの基礎と応用に関する討論をもとに、化学工学における新たな展開を探る。

共催: 反応工学部会, 粒子流体プロセス部会

開催日: 化学工学会第 54 回秋季大会

(2023 年 9 月 11 日～13 日)期間中

会場: 福岡大学 (七隈キャンパス)

- ・ (公)日本伝熱学会主催 第 60 回日本伝熱シンポジウムにおけるオーガナイズドセッション

「化学プロセスにおける熱工学」 合同企画

内容: 本部会とも関係の深い「化学プロセス」に関連した熱工学分野の研究発表を募集し、セッションを企画する。日本伝熱学会員とも交流を深め、学術・技術面での情報交換を行う。

開催日: 2023 年 5 月 25 日～27 日

会場: 福岡国際会議場 (福岡)

- ・ 第 57 回 化学工学の進歩講習会(協賛)

内容: 未定

開催日: 12 月頃を予定

会場: 名古屋を予定

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 2022 年度総会

内容: 2022 年度の部会の行事・決算報告, 2023 年度の行事予定・予算の審議等を行う。

開催日: 化学工学会第 54 回秋季大会

(2023 年 9 月 11 日～13 日)期間中

会場: 福岡大学 (七隈キャンパス)

- ・ 2023 年度第 1 回熱工学部会研究会・総会

内容: 部会の活動内容の現状あるいは将来に関する議論を部会員間で行う。

開催日：化学工学会第54回秋季大会

(2023年9月11日～13日)期間中

会場：福岡大学（七隈キャンパス）

- ・2023年度第2回熱工学部会研究会

内容：部会の活動内容の現状あるいは将来に関する議論を部会員間で行う。

開催日：熱工学部会セミナーと同じ

会場：熱工学部会セミナーと同じ

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・熱工学部会セミナー(1回/年)

内容：熱工学に関連する重要かつ興味あるテーマを設定し、複数名の講師に講演を依頼するとともに、参加者間でテーマに関する議論並びに情報交換を行う。

開催日：未定

会場：未定

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・化学工学誌 10号 年鑑

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・部会ホームページにおける情報発信を強化するために、ホームページの内容を充実させる。

8. 特記事項

- ・熱工学部会賞

化学工学会第54回秋季大会における「熱工学部会シンポジウム」での発表者を対象とする。

- ・部会横断シンポジウム

化学工学会第54回秋季大会における「プラズマプロセッシングの新展開」での発表者を対象とする。

化学装置材料部会

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・部会講演会(6回/年) 分科会の会合時および総会時に開催予定。

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・第88年会 2023年3月15日～17日「化学産業技術フォーラム:化学装置の高経年化と余寿命評価, および補修による寿命延長」(セッションは2023年3月17日に行われている予定)
- ・第54回秋季大会 2023年9月11日～13日

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・各分科会での研究会活動 各分科会において、研究会や見学会等を年4回目標に開催する。

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・化学工学年鑑、トピックスの執筆

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・部会メールマガジンを適宜発行

8. 特記事項

- ・化学装置材料部会 2021年度総会

(2回/年)

- ・化学装置材料部会 2021年度役員会

(2回/年)